

---

## ライスボウルトーナメントは 12 月 10 日にセミファイナル 第 77 回ライスボウルへの出場権を懸け、4 強のバトル

---

報道関係 各位

平素は大変お世話になっております。

社会人アメリカンフットボールの最高峰リーグ・X1 Super の王座決定戦「アメリカンフットボール日本選手権ブルデンシャル生命杯第 77 回ライスボウル」(2024 年 1 月 3 日東京ドーム) の出場権を懸けたプレーオフ・ライスボウルトーナメント (RBT) も 12 月 10 日にいよいよセミファイナルラウンドを迎えます。

セミファイナルにコマを進めた 4 強はライスボウル 2 連覇中の富士通フロンティアーズ、過去 2 大会連続出場のパナソニック インパルス、3 年ぶり 12 回目の出場を狙うオービックシーガルズ、そしてライスボウル初出場初戴冠を目指す IBM BIG BLUE です。

12 月 10 日に大阪市のヨドコウ桜スタジアムでパナソニックと IBM (13:00 キックオフ) が、同日に川崎市の等々力陸上競技場で富士通とオービック (15:00 キックオフ) が雌雄を決します。それぞれ 2 年前のセミファイナルのリマッチでもあります。日本一の座を懸けた 4 強の熱い闘いにご期待ください。

【本件に関するお問い合わせ】

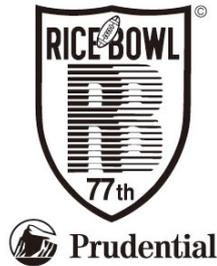
一般社団法人日本社会人アメリカンフットボール協会事業部広報 生澤 (いけざわ)

TEL : 090-3472-7937 email: h.ikezawa@xleague.jp



日本社会人アメリカンフットボール協会  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ岡町 4-2  
Japan Sport Olympic Square 802  
TEL:03-6455-5272 FAX:03-6455-5271

NATIONAL FOOTBALL ASSOCIATION  
#802 Japan Sport Olympic Square  
4-2 Kasumigaoka-machi, Shinjuku-ku  
Tokyo 160-0013, Japan



## 【2023 年度ライスボウルトーナメントセミファイナル実施要綱】

- 試合名称：ライスボウルトーナメントセミファイナル（RBT セミファイナル）
- 主催：一般社団法人日本社会人アメリカンフットボール協会
- 試合形式：1クォーター 15 分の 4 クォーター制でハーフタイムは 15 分間  
第 4 クォーター終了時に同点の場合はタイブレークシステムで勝者を決める。  
勝利チームはアメリカンフットボール日本選手権ブルデンシヤル生命杯第 77 回ライスボウル（2024 年 1 月 3 日東京ドーム）に出場する。
- 対戦カード：
  - ◆ 12 月 10 日（日） 13:00 キックオフ @ヨドコウ桜スタジアム（大阪市）  
パナソニック インパルス（バックスタンド側） 対 IBM BIG BLUE（メインスタンド側）
  - ◆ 12 月 10 日（日） 15:00 キックオフ @等々力陸上競技場（川崎市）  
富士通フロンティアーズ（メインスタンド側） 対オービックシーガルズ（バックスタンド側）
- チケット情報：全席自由席 前売 2,300 円 当日 3,000 円 こども 1,150 円 学生割 2,200 円 団体割（5 名以上）2,200 円  
※ チケットは X リーグチケットでのご購入が便利です。セミファイナルは当日券を試合会場でも販売いたします。
- X リーグチケット：<https://xleague.tstar.jp/>
- 配信：X リーグ TV on アメフトライブ by rtv (<https://live.amefootlive.jp/>) で有料ライブ配信および見逃し配信
- テレビ放送：CS スポーツチャンネル「GAORA SPORTS」で後日放送
  - ◆ パナソニック vs. IBM：12 月 28 日（木）21:00 ～ 23:30（再放送 12 月 29 日（金）26:30～5:00）
  - ◆ 富士通 vs.オービック：12 月 28 日（木）23:30 ～ 26:00（再放送 12 月 30 日（土）26:30～5:00）
- ※ 放送時間は都合により変更になる場合があります。
- ※ GAORA のご視聴方法については、以下にお問い合わせください。  
GAORA カスタマーセンター 0570-000-302  
受付時間：午前 10 時～よる 8 時（年中無休）  
詳しくは、『[GAORA SPORTS](#)』のホームページでご確認ください。

---

## セミアイナルの見どころ①パナソニック対 IBM

---

### 得点力の高いハイパーオフENS同士の激突 2年前と同じくハイスコアリングゲームが展開か

Division A1 位通過のパナソニック インパルスと Division B2 位の IBM BIG BLUE の対戦は 12 月 10 日、大阪市のヨドコウ桜スタジアムで行われる。2021 年のセミアイナルと同じ顔合わせだ。

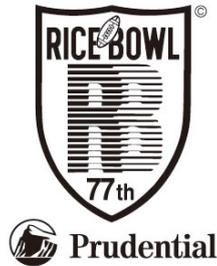
2 年前の対戦は激しい点の取り合いになり、第 4 クォーターに 2 タッチダウンをあげたパナソニックが 38 対 31 で勝利した。今年もタッチダウンの応酬が繰り返されそうだ。



パナソニックは今季からクォーターバック (QB) を石内卓也 (右写真中央) と荒木優也の二人体制に切り替えてオフENSを展開してきた。石内がレギュラーシーズン 5 試合で 9 個のタッチダウンパスを成功させれば、荒木も負けじと 6 タッチダウンパスでハイパーオフENSの司令塔を務めている。

石内と荒木が繰り返すパスを受けるのがタイトエンド (TE) ダックス・レイモンド、ワイドレシーバー (WR) 桑田理介、木戸崇斗らレシーバー陣だ。この 3 人はいずれも 3 タッチダウンパスキャッチを記録しているだけでなく、ビッグプレーを生み出す能力が高い。特にレイモンドは 196 センチのサイズを生かしてタックルを跳ね返し、ランアフターキャッチでさらに距離を重ねる。

地上戦ではラッシング 2 位のランニングバック (RB) 立川玄明に、シーズン途中で故障から復調したミツチェルビクタージャモ어가加わってさらに厚みを加えた。ランとパスのどちらを中心にオフENSを組み立てても高い得点能力を誇るのがパナソニックの特徴だ。



ディフェンスは驚異的に失点が少ない。ライスボウルトーナメント（RBT）クォーターファイナルまでの 6 試合で、相手のオフェンスに 2 つ以上のタッチダウンを許した試合はない。第 2 節の東京ガススクリエイターズにだけ 1 試合で 3 タッチダウンを奪われたが、そのうち 2 本はインターセプトリターンとパントブロックリターンによるものだ。

この鉄壁ディフェンスを最前列で支えるのが小石直哉、梶原誠人、イグエケー祥一らディフェンスライン（DL）陣だ。その後ろをラインバッカー（LB）のジャボリー・ウィリアムス、加藤聖貴、主将の青根奨太、小西憂らが固め、バックフィールドをワイズマンモーゼス海人、ジョシュア・コックス、秋山雅洋、土井康平らボールホーカーが守る。

今季ここまで負けなしで、しかも 2 度の完封勝利を記録しているパナソニックは意外にもディフェンスの主要部門でトップ 10 に名前を連ねている選手が少ない。DL 小西が 2 サックで同率 4 位にランクされているのみだ。裏を返せば誰もがビッグプレーを生む能力を持ち、ディフェンスの全 11 個のポジションに隙がないことの表れだ。

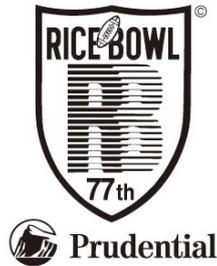
対する IBM も今季はツイン QB スタイルを確立させた。日本を代表するパサーである政本悠紀に加え、ビクター・ピラモンテスが QB を務める。正確無比なパスを投じる政本はオフェンスにリズムを生み出し、TE ジョン・スタントン、WR 近江克仁、新人糸川幹人らの実力を存分に引き出す。



ピラモンテス（左写真）も強肩の持ち主だが、ディフェンスが脅威を感じるのはむしろ彼のランだ。判断よくスクランブルに切り替え、またある時はデザインされた QB ランでディフェンスを圧倒する。レギュラーシーズンでは 239 ヤードラッシュをマークしたが、これは QB ではトップの数字で、ラッシング全体でも 5 位の数字だ。100 キロのサイズを持つピラモンテスを一発のタックルで倒すのは難しく、それだけに彼が走り出した時には複数のディフェン

ダーでしっかりとタックルする必要がある。

長年にわたって定評のあるパスに加えてラン攻撃も強力なのが今年の IBM オフェンスだ。ピラモンテスだけでなく政本に脚力に優れている。そして、RB では大きな成長を見せた加藤大資に注目だ。オールラウン



ドプレーヤーと形容すべき選手で、ランだけでなくパスキャッチやパスプロテクションでも安定した貢献を見せる。

2年ぶりにセミファイナルに進出した IBM に懸念があるとすればここまで失点の多いことだ。1試合平均 19 失点（RBT クォーターファイナル含む）は 4 強に残っているチームのなかでは最多で、今季完封勝ちがないのは IBM だけだ。

とはいえ、IBM ディフェンスにもタレントはそろっている。パスラッシュの名手 DL 島野純三を筆頭に 5 回のタックルフォーロス（TFL）を記録した DL クリスチャン・オンイエチ、守備範囲の広い LB 寺林翼らはオール Xリーグ級の活躍をする。

IBM ディフェンスの強みはディフェンスバック（DB）陣だ。インターセプト数（3）でリーグトップタイの小阪田裕介、2 インターセプトのうち 1 つを 98 ヤードのリターンタッチダウンに結び付けたローガン・スチュワート、シュアタックルの岸野友哉、中谷祥吾らが「最後の砦」を固める。個々のタレントの能力がうまくみ合えば、失点を抑えて堅固なディフェンスでパナソニックに対抗することも十分に可能だ。

	Panasonic IMPULSE	2023	IBM BIG BLUE	
<b>パナソニック インパルス</b>		<b>VS</b>	<b>IBM BIG BLUE</b>	
リーグ戦 5勝0敗		X1 SUPER	リーグ戦 4勝1敗	

○	30-10	ノジマ相模原	week1	otonari福岡	46-28	○
○	28-21	東京ガス	week2	エレコム神戸	35-21	○
○	65-0	電通	week3	アサヒビール	31-7	○
○	40-13	アサヒ飲料	week4	胎内	27-14	○
○	14-9	オービック	week5	富士通	7-43	●
○	27-0	アサヒビール	QF	ノジマ相模原	24-21	○



日本社会人アメリカンフットボール協会  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ町 4-2  
Japan Sport Olympic Square 802  
TEL:03-6455-5272 FAX:03-6455-5271

NATIONAL FOOTBALL ASSOCIATION  
#802 Japan Sport Olympic Square  
4-2 Kasumigaoka-machi, Shinjuku-ku  
Tokyo 160-0013, Japan

## セミアイナルの見どころ②富士通対オービック

### 安定の富士通オフェンスか、アグレッシブ守備のオービックが 長年のライバルがセミアイナルで対決

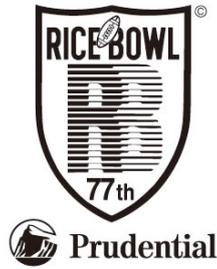
Division B1 位の富士通フロンティアーズと Division A 2 位のオービックシーガルズは過去に何度も勝負を生んできたライバル同士だ。その対戦が今季はライスボウルトーナメント（RBT）セミアイナルの大舞台で実現する。



富士通とオービックはXリーグのタイトルを争う社会人リーグ決勝戦で過去 5 回対戦し、オービックの 4 勝 1 敗だ。一方でリーグ再編で X1 Super が誕生した 2019 年以降の対戦成績（リーグ戦、プレーオフ）は富士通が 4 勝 1 敗と近年では優位に立っている。両チーム合わせてライスボウル制覇が 16 回を数えるこの両雄の勝負は過去の対戦成績を超越した激しいバトルが期待される。

ライスボウル 2 連覇中の富士通はまさに盤石といった戦いぶりで今シーズンも負けなしの 6 連勝でセミアイナルに進出した。1 試合平均 42.3 得点という驚異的な数字を残す一方で、相手に許したタッチダウンは 6 試合でわずか 4 つである。エースクォーターバック（QB）高木翼とリーディングランナーのトラッシュ・ニクソン（上写真）が欠場した RBT クォーターファイナル（対東京ガスクリエイターズ、10-7 で勝利）を除いて危なげない勝利を重ねてきた。

今年の富士通の特徴は若手の成長が著しいことだ。序盤から大差をつける試合展開が多かったために、先発メンバー以外の選手が多く出場機会を得ることができた。QB 高木、ランニングバック（RB）ニクソン、ワイドレシーバー（WR）松井理己、ラインバッカー（LB）徳茂宏樹、趙翔来といった従来の主力メンバーに加え、QB 野沢研、RB 三宅昂輝、WR 木村和喜、WR 柴田源太、ディフェンスバック（DB）高口宏起らが結果を残した。



また、こうした選手が前半を 10-10 の同点で折り返したアサヒビールシルバースター戦や僅差で勝利した東京ガス戦で接戦の試合展開を経験して勝負強さを身につけたことも大きな収穫だった。

オフェンスは言うまでもなく QB 高木が繰り出す安定したパスオフェンスとニクソンを中心としたパワフルなランプレーが大きな武器だ。山下公平や大久保壮也といった昨季のオール X リーグ選出選手がそろうオフェンスライン (OL) は強力で、富士通オフェンスの屋台骨と言って過言ではない。

ディフェンスはジョー・マシス、宇田正男らディフェンスライン (DL) と LB 陣がランに対して堅い守備を見せる一方で、アルリワン・アディヤミ、渡辺裕也、高口がいずれもリーグトップタイの 3 インターセプトを記録しており、空中戦の守りも万全だ。

3 年ぶりの日本一を目指すオービックは今季、大野洋 HC による新体制で 2023 年シーズンに臨んだ。リーグ戦最終節のパナソニック インパルス戦には敗れたものの、攻守がかみ合ったゲームメイキングで試合を追うごとに成長してきたチームだ。

オービックの最大の武器はアグレッシブなディフェンスだ。伝統的にディフェンスの強いチームだが、今季は持ち前のスピードを生かして相手 QB にプレッシャーをかけてきた。DL 仲里広章やカーデル・ローリングスのパスラッシュは強力で、富士通の OL とは興味深いマッチアップとなりそうだ。



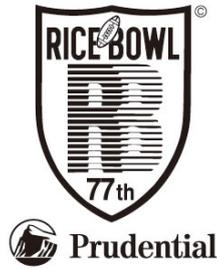
2 年目の DB 助川左門 (上写真) は昨季をひとつ上回る 3 インターセプトでリーグトップタイの結果を残した。小椋拓海、東方嘉永らパスディフェンスの名手がいるのもセカンダリーの強みで、相手のビッグプレーを防ぐ役割を果たしている。

オフェンスでは QB タイラー・クルカに注目だ。リーグ 2 位の 1,058 ヤードをパスで稼ぎ、タッチダウンパス数でも高木の 12 に次ぐ 11 個を記録している。タイトエンド (TE) ホールデン・ハフや WR 西村有斗とのホットラインは貴重な得点源だ。リーグ戦でのタッチダウンパスこそなかったものの、加入 1 年目の渡邊ジャマールはチーム最多のパスキャッチ数を記録しており、活躍が期待される選手の一人だ。



日本社会人アメリカンフットボール協会  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ町 4-2  
Japan Sport Olympic Square 802  
TEL: 03-6455-5272 FAX: 03-6455-5271

NATIONAL FOOTBALL ASSOCIATION  
#802 Japan Sport Olympic Square  
4-2 Kasumigaoka-machi, Shinjuku-ku  
Tokyo 160-0013, Japan



グラウンドアタックもオービックオフェンスの強みで、昨年まで2年間カナダのプロフットボールリーグ CFL でプレーしていた RB 李卓、2年目の西村七斗のコンビは確実にゲインを計算できるランナーだ。主将を務める李はパスキャッチでも大きく貢献しており、富士通ディフェンスにとっては要注意の存在だ。

富士通とオービックの対戦は例外なく接戦になる。それだけに一つのミスが致命的となる可能性が高い。高レベルのフットボールを展開する両チームだが、ミスのない試合をすることも勝敗を左右する重要なファクターとなるだろう。



**FUJITSU FRONTIERS**  
**富士通フロンティアーズ**  
リーグ戦 5勝0敗

2023

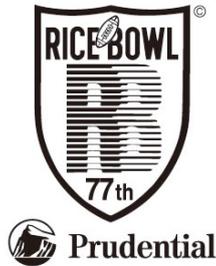
**VS**

X1 SUPER

**OBIC SEAGULLS**  
**オービックシーガルズ**  
リーグ戦 4勝1敗



○	31-14	エレコム神戸	week1	電通	38-3	○
○	60-3	胎内	week2	ノジマ相模原	24-6	○
○	73-0	otonari福岡	week3	アサヒ飲料	35-16	○
○	37-10	アサヒビール	week4	東京ガス	24-0	○
○	43-7	IBM	week5	パナソニック	9-14	●
○	10-3	東京ガス	QF	エレコム神戸	17-7	○



---

## アメリカンフットボール日本選手権プルデンシャル生命杯 第 77 回ライスボウル プレスカンファレンスのご案内

---

報道関係 各位

平素は大変お世話になっております。

社会人アメリカンフットボール・X リーグのプレーオフであるライスボウルトーナメントは 12 月 10 日（日）に大阪市ヨドコウ桜スタジアムと川崎市等々力陸上競技場でセミファイナルを行い、アメリカンフットボール日本選手権プルデンシャル生命杯第 77 回ライスボウル（2024 年 1 月 3 日、東京ドーム）に出場する 2 チームが決定します。

つきましては、セミファイナル翌日の 12 月 11 日（月）に恒例のライスボウルプレスカンファレンスを下記の通り開催いたします。プレスカンファレンスにはライスボウル出場するチームから監督またはヘッドコーチ 1 名、主将または主力選手 1 名が出席する予定です。ハーフタイムショーへの出演が決まった WANIMA からのメッセージもご紹介いたします。

プレスカンファレンスの後にはキックオフパーティー（懇親会）をご用意させていただきます。報道関係の皆様方におかれましては年の瀬のご多用中のこととは存じますが、ご参加いただき、広くご報道くださいますようお願い申し上げます。

取材をご希望の方は以下の取材お申し込みフォームからお申し込みください。事前の準備を整える都合から、12 月 8 日（金）18 時までにお申し込みをお願いいたします。

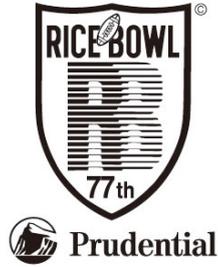
取材お申し込みフォーム：

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScG6GO1aIO6At1PILR9kSW3NUsUisFVMJBSOEVNkaoeDbgeQ/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScG6GO1aIO6At1PILR9kSW3NUsUisFVMJBSOEVNkaoeDbgeQ/viewform?usp=sf_link)



日本社会人アメリカンフットボール協会  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ町 4-2  
Japan Sport Olympic Square 802  
TEL:03-6455-5272 FAX:03-6455-5271

NATIONAL FOOTBALL ASSOCIATION  
#802 Japan Sport Olympic Square  
4-2 Kasumigaoka-machi, Shinjuku-ku  
Tokyo 160-0013, Japan



【 記 】

- 日時・場所： 2023 年 12 月 11 日 (月) 13 時～ 14 時 45 分 (12:30 受付開始)  
プレスカンファレンス 13:00 ～ 13:30 (予定) 東京ドームホテル B1「シンシアサウス」  
キックオフパーティー 13:30 ～ 14:45 東京ドームホテル B1「シンシアノース」
- 出席者(予定)： プルデンシャル生命杯第 77 回ライスボウルに出場する 2 チームの監督またはヘッドコーチ、選手、高橋淳 (プルデンシャル生命保険株式会社執行役員)、寺田昌弘 (公益社団法人日本アメリカンフットボール協会会長)、渡部滋之 (一般社団法人日本社会人アメリカンフットボール協会理事長)
- 内容 (予定)： ライスボウル概要、出場チーム紹介、ハーフタイム詳細、質疑応答など。

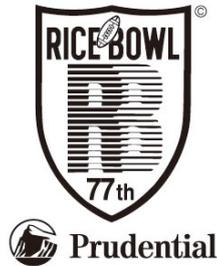
【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本社会人アメリカンフットボール協会  
生澤浩 090-3472-7937  
h.ikezawa@xleague.jp



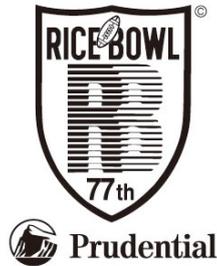
日本社会人アメリカンフットボール協会  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ岡町 4-2  
Japan Sport Olympic Square 802  
TEL:03-6455-5272 FAX:03-6455-5271

NATIONAL FOOTBALL ASSOCIATION  
#802 Japan Sport Olympic Square  
4-2 Kasumigaoka-machi, Shinjuku-ku  
Tokyo 160-0013, Japan



## 【第 77 回ライスボウル大会実施要項】

- 試合名称：アメリカンフットボール日本選手権プルデンシャル生命杯第 77 回ライスボウル  
American Football Japan Championship Rice Bowl 77 by Prudential
  - 日時：2024 年 1 月 3 日（水）15 時 00 分 キックオフ（開場 13 時）
  - 会場：東京ドーム（東京都文京区後楽 1-3-61）
  - 主催：公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
  - 主管：一般社団法人日本社会人アメリカンフットボール協会
  - 運営協力：一般社団法人関東学生アメリカンフットボール連盟
  - 後援：スポーツ庁、アメリカ大使館、日刊スポーツ新聞社、読売新聞社
  - 特別協賛：プルデンシャル生命保険株式会社
  - 協力：株式会社東京ドーム、他
  - 対戦：ライスボウルトーナメントセミファイナル（12 月 10 日実施）勝者同士
  - 試合形式：1 クォーター 15 分の 4 クォーター制、ハーフタイム 30 分  
第 4Q 終了時点で同点の場合は「タイブレークシステム」を適用して延長戦を行う。
  - ベンチエリア：一塁側が富士通フロンティアーズ対オービックシーガルズ戦の勝者、三塁側がパナソニックインパルス対 IBM BIG BLUE 戦の勝者。
  - 放送：NHK-BS（生中継）※ 15 時 00 分～試合終了まで（予定）
  - 配信：X リーグ TV on アメフトライブ by rtv (<https://live.amefootlive.jp/>) でデイレート有料配信
  - 入場料：
    - ◆ バルコニー指定席／食事付 前売：10,500 円 当日：11,200 円
    - ◆ バルコニー指定席／食事なし 前売：6,500 円 当日：7,200 円
    - ◆ 1 階内野席・車いす席 前売：5,000 円（2,500 円） 当日：5,700 円（2,850 円）
    - ◆ 2 階席 前売：4,500 円 当日：5,200 円
    - ◆ 外野席 前売：3,000 円（1,500 円） 当日：3,700 円（1,850 円）
    - ◆ LIVE エンターテイメントシート 前売：3,000 円 当日 3,700 円
- ※全席指定 大会プログラム無料配布
- ※（ ）内は子供料金（小学生以下）。（ ）表記のない席種はこども料金はありません。
- ※車いす席をご利用の方は、「1F 内野席」のチケットページより購入のお手続きをお願いいたします。



■前売券発売:

- ①2023年11月3日(金) バルコニー指定席
- ②2023年11月13日(月) 1階内野席(車いす席)、2階席、LIVEエンターテイメントシート
- ③2023年12月中旬～ 外野席

■前売券販売場所: Xリーグチケット <https://xleague.tstar.jp/>

※チケットご購入の際はベンチエリアを必ずご確認ください。

■備考:

- ① 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- ② 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。
- ③ 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
- ④ 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が要となるので留意して下さい。
- ⑤ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト( <https://www.playtruejapan.org> )にて確認して下さい。

■ハーフタイム : WANIMA による特別ライブ

■試合前イベント:

- ◆ X LEAGUE AWARDS 2023 (メインビジョンにて発表)
- ◆ 高校、大学フットボールリーグ優勝・監督表彰
- ◆ フラッグフットボールアジアオセアニア大陸選手権 優勝・女子チーム

■問 合 せ 先 : ライスボウル実行委員会 (日本アメリカンフットボール協会)

電話 :03 (5843) 0482

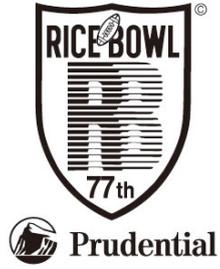
■公 式 サイト:

- ◆日本アメリカンフットボール協会 : <https://americanfootball.jp/>
- ◆Xリーグ : <https://xleague.jp/>



日本社会人アメリカンフットボール協会  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ町 4-2  
Japan Sport Olympic Square 802  
TEL:03-6455-5272 FAX:03-6455-5271

NATIONAL FOOTBALL ASSOCIATION  
#802 Japan Sport Olympic Square  
4-2 Kasumigaoka-machi, Shinjuku-ku  
Tokyo 160-0013, Japan



NATIONAL  
FOOTBALL  
ASSOCIATION

日本社会人アメリカンフットボール協会  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ岡町 4-2  
Japan Sport Olympic Square 802  
TEL:03-6455-5272 FAX:03-6455-5271

NATIONAL FOOTBALL ASSOCIATION  
#802 Japan Sport Olympic Square  
4-2 Kasumigaoka-machi, Shinjuku-ku  
Tokyo 160-0013, Japan